



一般社団法人 日本病理学会  
〒113-0034  
東京都文京区湯島 1-2-5  
聖堂前ビル 7階  
TEL: 03-6206-9070  
FAX: 03-6206-9077  
E-mail jsp-admin@umin.ac.jp  
http://pathology.or.jp

一般社団法人日本病理学会

第 306 号

平成 25 年 (2013 年) 7 月刊

### 1. *Pathology International* ご投稿のお願い

*Pathology International* は 1951 年に創刊された日本病理学会の公式月刊英文学会誌です。

2011 年より冊子体の刊行が無くなり、国内からの投稿数が減少傾向にあります。病理学会員の皆様におかれましては、積極的なご投稿をお願いいたします。

*Pathology International* の実績は…

- \* 5 年連続でインパクトファクター上昇中 (2012 年 1.722)
- \* オンライン閲覧 (フルテキスト) 年間 12 万回 ダウンロードも年間 10% 以上の伸び率
- \* 投稿は世界 20 か国以上から
- \* 全世界でおよそ 4,500 の機関が購読 (複数の図書館・研究機関の購読プログラム)
- \* 地域別の購読者はヨーロッパ 34%, 北米カナダ 16%, 中国 3%
- \* 論文の採択からオンライン出版まで 45 日間などとなっております。

病理学会会員専用の ID とパスワードで電子閲覧ができ、ご投稿も電子投稿システムを通してオンラインから可能です。

投稿規定など詳細はジャーナル・ホームページ

[http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/\(ISSN\)1440-1827](http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/(ISSN)1440-1827) をご覧ください。

会員の皆様方からのご投稿をお願いいたします。

### 2. 第 104 回 (平成 27 年度) 総会における宿題報告の募集について (公募)

第 104 回 (平成 27 年度) 日本病理学会における宿題報告を下記の要領により、募集いたします。

1. 応募資格: 日本病理学会学術評議員
2. 募集人員: 3 名
3. 提出書類:

- ・日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録 (1,000 字以内) などを記載のこと。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局まで請求のこと。
- ・講演内容に直接関係のある自著論文 50 編以内の一覧

・代表的な自著論文 10 編以内の別刷

4. 提出先: 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-2-5 聖堂前ビル 7 階

一般社団法人日本病理学会事務局「宿題報告応募抄録」と明記し、書留郵便でお送りください。

5. 締め切り: 平成 25 年 8 月 31 日 (消印有効)

なお、第 104 回日本病理学会における宿題報告担当者は、平成 25 年秋の学術委員会において厳正・公明に選考し、同年 11 月の理事会審議にて決定いたします。本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局:

TEL 03-6206-9070 FAX 03-6206-9077  
jsp-admin@umin.ac.jp

学術委員長 (安井 弥):

TEL 082-257-5145 FAX 082-257-5149  
wyasui@hiroshima-u.ac.jp

### 3. 第 61 回 (平成 27 年度) 秋期特別学術集會会長ならびに第 105 回 (平成 28 年度) 学術集會会長の募集について (公募)

一般社団法人日本病理学会は、第 61 回 (平成 27 年度) 秋期特別学術集會会長ならびに第 105 回 (平成 28 年度) 学術集會会長を以下のとおり募集いたします。

学術評議員各位

平成 25 年 7 月

一般社団法人日本病理学会  
理事長 深山 正久

日本病理学会秋期特別学術集會 (秋期特別総会) の会長ならびに学術集會 (春期総会) の会長は、定款施行細則の定めるところにより、いずれも理事会が選考し、総会において決定しています。

ここに、第 61 回 (平成 27 年度) 秋期特別学術集會会長ならびに第 105 回 (平成 28 年度) 学術集會会長を、下記の要領により募集いたします。

記

1. 応募は自薦であること。
2. 応募者は、第 61 回秋期特別学術集會会長の場合は平成 27 年 11 月 1 日に、また、第 105 回春期学術集會会長の場合は平成 28 年 4 月 1 日にそれぞれ満 65

歳以下の日本病理学会学術評議員であること。

3. 第 61 回（平成 27 年度）秋期特別学術集会会長の応募は、関東地区からの限定とすること（なお開催地は、会長所属機関と異なる利便性の高い場所を選択することもできる）。
4. 応募者は、日本病理学会学術集会改革案（平成 18 年 5 月 1 日決定 会報 221 号平成 18 年 6 月掲載）の趣旨を踏まえて、所定の用紙に学術集会に対する考え方、学術集会の具体的な実行計画、日本病理学会及び関連学会において近年に行った主要な学術活動等を記載すること。
5. 応募の締切りは、平成 25 年 9 月 30 日（消印有効）までとすること。

所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

なお、所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：

TEL 03-6206-9070 FAX 03-6206-9077  
jsp-admin@umin.ac.jp

#### 4. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

向後 隆男 名誉会員（平成 25 年 7 月 16 日ご逝去）

## お知らせ

### 1. 平成 25 年度「風戸賞」および「風戸研究奨励金」の公募について

申込み締切り：平成 25 年 10 月 25 日および平成 25 年 12 月 13 日

連絡先：（公財）風戸研究奨励会 事務局  
〒196-8558 昭島市武蔵野 3-1-2  
日本電子（株）内  
TEL：042-542-2106 FAX：042-546-9732  
E-mail：kazato@jeol.co.jp

### 2. 平成 25 年度食品健康影響評価技術研究成果発表会のお知らせ

内閣府食品安全委員会では、食品健康影響評価技術研究の成果の普及及び活用を促進することを目的に、下記のとおり平成 24 年度に終了した課題について成果発表会を開催します。

1. 日時：平成 25 年 8 月 29 日（木） 13:30～16:40
2. 場所：食品安全委員会 中会議室
3. プログラム・申し込み方法 詳細  
[http://www.fsc.go.jp/osirase/gijyutu/2508\\_seika\\_happy\\_annai.html](http://www.fsc.go.jp/osirase/gijyutu/2508_seika_happy_annai.html)
4. 申込締切：平成 25 年 8 月 23 日（金） 17:00  
（定員：70 名）

### 3. 日本医師会年金について

標記の件にご興味のある方は <http://www.med.or.jp/nenkin/> をご参照の上、「日本医師会年金・税制課」へお問い合わせ下さい。

TEL 03-3942-6518（直通）

2013 年

## 病理学教育セミナーのお知らせ

IAP 日本支部主催 日本病理学会後援

日 時：2013（平成 25）年 11 月 23 日（土）

場 所：山梨大学甲府キャンパス（〒400-8510 甲府市武田 4-4-37）

教育シンポジウム 9:00-11:45

テーマ：乳腺病理 最近の動向 Current topics of breast pathology

モデレーター：津田 均（防衛医科大学第二病理）

森谷 卓也（川崎医科大学病理学 2）

演 者：1. Prof. Sunil R Lakhani（Breast Pathology Group, The University of Queensland Centre for Clinical Research, Australia）

Diagnostic challenges in Breast Pathology, perspectives from the new WHO Classification

2. 堀井 理絵（がん研究会有明病院病理部）

乳管内増殖性病変の病理診断

3. 長谷部孝裕（国立がん研究センター東病院病理科・臨床検査科）

浸潤性乳管癌の正確な悪性度評価に有用な病理組織因子

4. 坂谷 貴司（自治医科大学病理学講座・病理診断部）

乳癌 Ki-67 の評価 — 最近の知見と動向 —

5. 大井 恭代（博愛会相良病院病理診断科）

センチネルリンパ節生検の臨床的運用と病理学的評価

\*教育シンポジウムは、当日ご自由にご参加ください。病理専門医の資格更新単位として 5 単位が得られます。

参加費：会員 3,000 円、非会員 4,000 円（ハンドアウト代を含む）

スライドセミナー 午後

1 時限目 13:30-15:30

A-1 肝生検の病理診断（非腫瘍性疾患） 全 陽（Institute of Liver Studies, King's College Hospital, UK）

B-1 皮膚色素性病変の病理診断 泉 美貴（東京医科大学医学教育学講座）

C-1 骨腫瘍の病理 小田 義直（九州大学大学院医学研究院形態機能病理学）

\*D-1 口腔病理 高田 隆（広島大学医歯薬保健学総合研究院口腔顎顔面病理病態学研究室）  
（顎骨に生じる嚢胞、腫瘍ならびに腫瘍様病変）

2 時限目 15:45-17:45

A-2 腎生検の病理 上田 善彦（獨協医科大学越谷病院病理部）

B-2 前立腺癌 — 良悪性の鑑別を中心に — 鷹橋 浩幸（東京慈恵会医科大学病理学）

C-2 卵巣腫瘍の病理 安田 政実（埼玉医科大学国際医療センター病理診断科）

\*D-2 軟部腫瘍の病理 — 新 WHO 組織分類をふまえて — 久岡 正典（産業医科大学医学部第一病理学講座）

\*印は新規コース。スライドセミナーは事前登録が必要です。事前資料としてバーチャルスライド（DVD-R）を送付予定です。病理専門医の資格更新単位として 10 単位が得られます。お申し込みは 2013 年 8 月 19 日（月）より、IAP のホームページに直接アクセスして、お申し込みください。

受講料（1 コース）：IAP 日本支部会員 7,000 円、非会員 12,000 円（DVD、ハンドアウト代を含む）

詳細・参加登録については IAP ホームページ <http://www.iapjapan.org/index.html>

連絡先：IAP 日本支部教育委員長 小田 義直

（スライドセミナー担当）

九州大学大学院医学研究院形態機能病理

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL：092-642-6061 FAX：092-642-5968

IAP 日本支部 常任幹事 石川 雄一

（教育シンポジウム担当）

（公財）がん研究会がん研究所病理部

〒135-8550 東京都江東区有明 3-8-31

TEL：03-3570-0559 FAX：03-3570-0558